

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年10月25日

計画の名称	伊勢原駅南口周辺地区における災害に強いまちづくりの実現（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	伊勢原市											
計画の目標	本市は、昭和54年8月に大規模地震対策特別措置法に基づく東海地震の地震防災対策強化地域に、さらに平成26年3月に南海トラフ地震対策特別措置法に基づく推進区域、首都圏直下地震対策特別措置法に基づく緊急対策区域に指定されている。 今後起こりうる災害から住民の生命・財産を守るため、伊勢原駅南口周辺地区の密集市街地における防災機能を備えた都市公園の整備、既存公園への防災機能付加により災害に強いまちづくりを推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	228	A	228	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	伊勢原駅南口周辺地区において、防災機能を備えた街区公園を備えた街区公園の整備率を100%をめざす。 地区内における既存の避難地と合わせ、住民2㎡あたりを確保できる面積を地区内人口で除す。 必要面積：南口周辺人口23,278人×2㎡/人=46,556㎡（H28当初35,372㎡÷46,556㎡=76.0%）（H30中間42,624㎡÷46,556㎡=91.6%）（H32最終46,576㎡÷46,556㎡=100%以上）	76%	92%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	伊勢原市	直接	伊勢原市	-	-	都市防災総合推進事業	地区公共施設整備(防災施設を備えた街区公園の整備)	伊勢原市						228		-
											小計						228		
											合計						228		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
当該計画作成者が事後評価を実施した。	令和3年度
	公表の方法
	伊勢原市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	伊勢原駅南口周辺地区において、街区公園を整備し、避難地の整備率を100%とすることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	3箇所の街区公園に防災施設（防災トイレ、かまどベンチ、LED照明、防災井戸等）を整備することにより、当該エリアの防災機能が向上した。
特記事項（今後の方針等）	
伊勢原市域における災害に強いまちづくりを推進するため、引き続き防災機能を備えた都市公園の整備を行っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	地区内の避難地（街区公園）の整備率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%